

【樹木の部屋】

コナラ（ブナ科コナラ属 *Quercus serrata* Murray）

和名：コナラ（小櫨） **別名**：ハウソ

ブナ目の落葉広葉樹

名の由来：もうひとつの日本の主なナラであるミズナラの別名オオナラ（大櫨）に対してつけられた。



← **写真－1** コナラ樹形

撮影日：2012年4月24日

撮影場所：奈良県広陵町
馬見丘陵公園

撮影者：Sさん



← **写真－2** コナラの新葉

撮影日：2012年4月24日

撮影場所：奈良県広陵町
馬見丘陵公園

撮影者：Sさん

写真－3 コナラの葉（葉の表裏）→

撮影日：4月下旬

撮影方法：標本をスキャン

採取場所：奈良高等技術専門校

提供：Mさん



【樹木の部屋】



コナラの花

撮影日：2012年4月24日

撮影場所：奈良県広陵町
馬見丘陵公園

撮影者：Sさん

<ちょっと一言>

日本の雑木林の主要樹種です。

4月から5月にかけて花が咲きます。

枝は春から夏の切りかえし剪定をします。

落葉広葉樹ですが茶色の葉が落ちません。(葉柄の付け根に離層が形成されないため)
樹皮は灰色で、縦に裂け目ができるのが特徴です。

ドングリは食べられます。ドングリができるまで2年かかります。昔、山村ではコナラのドングリはミズナラのドングリとともに重要な食糧(たんぱく源)でした。

コナラの枝を切り落とす虫は、ハイイロチョッキリと言うゾウムシの仲間です。小さな穴をあけてたまごを産み付けます。(9月馬見自然塾でのインストラクターさんの話より)
コナラの材は木炭の原料や、シイタケの原木に使われます。